

検査キットの確保・提供を／オミクロン感染で 党市議団・緊急に申し入れ／「保育、医療現場への提供準備」(副市長)

新型コロナ・オミクロン株の感染者数が一日 1600 人を超える深刻な事態にあたり、日本共産党札幌市議団は1月31日、秋元克広市長への緊急要望を実施しました。

要望項目は、医療や福祉、教育現場での PCR 等検査キットの確保や大規模無料検査の実施など4項目（後述です）。

党市議団には、「感染の可能性」がある市民が、職場に休暇を申し出ても受け付けてもらえないとの相談や、医療や介護、保育の現場では、一人が休むと職場が維持できず、PCR 等検査を受けたくても予約が取れず職場復帰もできず混乱が広がっていることから、緊急要望となったものです。

村上仁団長は、「検査キットの確保などで混乱は早急に解消を。休みが保障されていない職種もある」と要望とあわせて実情を紹介。対応した町田隆敏副市長は、「保育所で感染が広がると看護師などエッセンシャルワーカーといわれる方々が休まざるを得ない。保育所で抗原定性検査キットを実施する準備をしている。医療機関に検査キットを渡したい」と回答しました。



【新型コロナ・オミクロン株対応に係わる緊急要望項目】

1. 医療機関や介護や障がい者などの福祉施設、保育所及び学校等の機能維持に急務とされる PCR 等検査キットの確保と重点的な供給とともに、大規模無料検査の実施を国に求めること
2. 高齢者や障がい者は、重症化リスクが高いとされていることから、医療機関の無床診療所（クリニック）や介護・障がい者の通所施設の職員および利用者が感染した場合、従前のように疫学調査を行い、必要な手立てを講じること
3. 「感染の可能性」がある市民が混乱なしに、事業主に健康観察のための休暇取得の申し出ができるよう、「感染の可能性」があることを市民が、保健所に「届出」「登録」ができるシステムを整えること。また、市内各事業所に対し、従業員から、「感染の可能性」や休暇取得などの申し出があった場合に、感染拡大防止を最優先した対応がとられるよう、周知徹底を図ること
4. 市は「感染の可能性」がある市民の求めに応じて、「休業補償」を適用できるように国や道に要請し協議すること

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。